



「その場しのぎ」は、やめにしよう！

今はちょうど第3回定期試験が返却されている頃かと思います。（私自身もそうでしたが）テストが終わってすぐは「もっと早くから準備をしておけばよかったなあ」とか「授業中もっと集中して受けていれば良かったなあ」とか「先生や友達にもっと質問しておけば良かったなあ」と反省している人は少なくないと思います。その反省を次に生かすためにも、これからの生活で「その場しのぎ」を止めにしてみてもはどうでしょう。



試験での「その場しのぎ」は「一夜漬け」ですね。試験に向けて準備が整わないまま試験前日を迎えたときは最後の悪あがきに頑張ることは無駄ではないけれど、その知識が後日頭に残っているかというところではないのがほとんどです。私はここしばらく皆さんと一緒に「WORDBOX」の英単語テストを受けていますが、その場しのぎにならないよう、毎日少しずつ取り組むようにしていました。テストの前日には満点が取れる自信が持てるまで取り組んでいます。おかげで定期試験のコミュ英でのWORDBOX 部分は満点が取れました！

普段の学習での「その場しのぎ」は、各教科からの課題を「答えを写す」ことですかね。問題を解いていて答えが分からなかったとき、赤ペンなどを使って答えを写すわけですが、写すだけで終わったらそれこそ何のための誰のための勉強？ですよ。答えを写すだけではダメなのは皆さんも当然分かっているけれど、課題を提出するためにはしょうがない作業なのかもしれません。でも、これをして何の役に立つのでしょうか。だったらその時間をひとつの課題をちゃんと理解する時間にあてた方が将来的に見れば良いと思います。ということで、先日の年次集会でお話した「課題の取り組み方改革」に繋がります。課題は極力抑えて、ひとつひとつを丁寧にしっかりと身につけていこうというものです。これまでの学習で課題が中途半端になっていた人は前向きに挑戦してみてください。

「その場しのぎ」は人間関係や仕事でも止めた方がいいですね。他者との対応が必要になるときに、忙しくて自分の心に余裕がないと、どうしても「その場しのぎ」の対応をしがちです。でもそうすると、その後の対応が余計に大変になったり、修復不可能になったりしてしまいます。なので、普段から「その場しのぎ」をせず、ひとつひとつ丁寧に丁寧な対応を心がけていきたいものです。

1 年次主任 平岩岳実

～ 12 月行事予定～ 今年もあと 1 カ月！

日	曜日	A/B	予 定	日	曜日	A/B	予 定
1	水	B	フードドライブキャンペーン 原付免許取得者集会	16	木	A	
2	木	B		17	金	A	
3	金	B	キャリアガイダンス進学編	18	土		土曜講座(1, 2 年次共通)
4	土			19	日		
5	日			20	月	A	
6	月	B	年次レク	21	火	A	総合的な探究の時間講演会
7	火	B	(2 年次修学旅行～10日)	22	水	A	
8	水	B		23	木	行	報告会・休業前集会 大掃除
9	木	B		24	金		冬季休業開始(～1/6)
10	金	B		25	土		
11	土			26	日		
12	日			27	月		
13	月	A	京都大学学びコーディネーター事業特別講座	28	火		
14	火	A		29	水		校内完全閉鎖(～1/3)
15	水	A		30	木		
				31	金		

保護者の皆様へ

「年末の交通事故防止県民運動」 12 月に入り年間でも最も日が短い時期となりました。また、師走ともいわれるように年末を迎え何かと慌ただしい時期でもあります。県内でも「年末の交通事故防止県民運動」が始まっております。「自分の身は自分で守る」ようこの機会にご家庭においても交通事故防止についてご確認くださいませよう宜しくお願い致します。

「感染防止対策」 山梨県では新型コロナ新規感染者「0」の日が多くなっておりませんが、完全に終息するにはまだ時間がかかりそうです。校内では2年次生が7日から修学旅行を予定し、3年次生は大学入学共通テストまで2カ月を切り、重要な時期を迎えております。感染者が発生すると、学校が通常機能しなくなる可能性があります。1 年次生にもこれまで同様、感染防止を指導して参りますので、ご家庭でもご協力をお願い致します。

推し活のススメ

今津 彩

私は大学生の頃、推し活に自分の全てをかけて取り組んでいました。

公演のたびにチケットを買い、せっせと現場に通い、グッズを買いました。資本主義経済が彼らと私たちをつなぐ以上、ファンは自分の応援の気持ちをお金に換算することになります。当時大学生だった私はアルバイトを5つ掛け持ちしてなんとか資金を捻出しました。新幹線は使わず夜行バスを駆使しました。

推し活にのめりこむほど、ただお金をかけるだけではなく労力もかけたくなりました。はじめは手書きでしおりを作っていたのが、次第にフォトショップやイラストレーターというプロ用ソフトを使うようになりました。うちわも一つずつパーツを手作りするようになりました。思いが強くなればなるほど、かける時間や手間は増していきました。推し活とアルバイトの掛け持ちと学業との両立は大変ではありましたが、苦ではありませんでした。

振り返ってみると、この推し活によってかなり私の世界は広がりました。たくさんのアルバイトをする中でさまざまな世界を知り、たくさんの人と出会うことができました。パソコンソフトにも習熟することができましたし、ちょっとした旅行ならかなりのレベルで企画することができるようになりました。今の仕事に直接的に関わっているわけではありませんが、人生を豊かにする方法を確立できたことはこれから生きる上で大きな意味があると思います。

勉強でも部活動でも推し活でも、なにかひとつ熱中できることがあれば、それを軸に人は大きく成長することができます。役に立つか否かではなく、自分の心の弾むものを見つけ、それをひたすら極めていってください。その先にはより豊かな世界が待っているはずですよ。



逆境だからこそ発揮する力

志村 泉



私の教え子に、海外でバレエダンサーをしている男の子がいます。彼は、高校卒業後、バレエの本場ロシアに渡り、バレエダンサーなら誰もが目指す国立ワグノワ・バレエ・アカデミーで学びました。ロシアでの活動後、ジョージアにてトップダンサーとして活躍していましたが、半年ほど前から香港に拠点を移しました。驚いたのは、香港ではジョージアよりも降格して受け入れられたということです。なぜ、一見不利に思える状況になってまで香港に拠点を移したのか。

大きな理由は新型コロナウイルスです。ヨーロッパでも猛威を振るうウイルスは、舞台に立つ人間にとって大きな影響を与えました。舞台に立てるかどうかがダンサーとしての運命を分けるため、一度でも舞台を休むことは大きなことです。ロックダウンや公演中止は、今までに経験したことのない苦境だったはずです。彼は、よりコロナの影響の少ない場所を探し、見つけた先が香港だったわけです。

香港は新型コロナウイルスを封じ込めている地域の一つです。しかし、バレエの環境が整っているかというと、ヨーロッパとは比べ物になりません。そのような環境で、今、彼は大きなチャレンジに挑んでいます。格下げられた地位からトップに振り返ることに加え、まだまだ発展の可能性のあるアジア特にアジアの中心の地である香港一でバレエの普及に寄与したいというのです。

コロナによって多くのことが奪われているのは皆同じです。しかし、逆境だからこそ、新たな挑戦が生まれてくることもあります。今だからできることに果敢に挑戦した先には、大きな成果が待っているかもしれません。皆さんにとって、今だからこそできることは何ですか？

